

謹賀新年

IFCCは活動開始して33年目を迎えることになりました。ここまで至ることが出来たことを、皆様のご賛同ご協力のおかげと感謝申し上げます。

- ・「銃口を向け合わない友人知人を国境を越えて思い浮かべる交流を」めざし、これまで多くの分野で国際交流を行ってきました。事実を覆い隠し意図的あるいは無意識に忘れ去った「歴史」が「今」覆っています。今年も可能なかぎり、“忘却に抗(あ)らがい”“流されず”活動を継続していきたいと思えます。
 - ・また、昨年にはトランプ政権によるベネズエラ圧殺攻撃の緊急性から“フェイクに抗うベネズエラ情報”を Email 発信してきました。ポリビアで軍事クーデターが発生しましたが、ベネズエラで失敗したトランプ政権は中南米各国へ食指をのぼし陰謀を企ててきています。日本ではほとんど正確な情報が伝えられていません。従って、現在、“フェイクに抗う中南米情報”として Email 発信を続けています。
- ※ご希望の方は jvccpf@rmail.plala.or.jp まで連絡ください。



CUBAPONも実行委員会を担った「ベネズエラを知る集い」には定員オーバーの168名が集まり大盛会となった。(明治大学内、2019/7/7)

キューバ連帯活動は、25 年を経ました。キューバの“特別期”(東欧社会主義崩壊に伴うキューバ経済困窮期)の1994年に連帯の旗を掲げ日本キューバ連帯委員会(CUBAPON)を立ち上げてきました。

10周年、20周年とその都度記念の行事を行い活動の足跡を確かめてきましたが、連帯の旗を掲げ続ける必要性は今さらに高まっているかのようです。トランプ政権による締め付けは常軌を逸し、それは**第二の“困窮期”**と言われるほどキューバ国民を苦しめ始めています。

しかし、キューバは次の社会建設に向け、着実に歩んでいます。



キューバ・日本尼崎友好訪問団報告・講演会(2019/12/8)は大盛会。中央は特別講演したキューバ大使館のクラウド・モンソン書記官

- ・「革命の継続と変革」を掲げ“キューバに合った社会主義”を具体化するための憲法改正が2018年に全国討議され、2019年4月29日発布されましたが、2019年はキューバ革命60周年の年でもありました。CUBAPONは第22回訪問団を2019年11月29日～12月6日実施し友好連帯を続けてきました。
- ・CUBAPONはまたベネズエラ、ニカラグア、ポリビアはじめ中南米での人民の攻防を今年も継続して注視していきます。日本に溢れるアメリカ経由の情報の多くは真相を伝えていません。“フェイクに抗う中南米情報”を Email 発信していきます。キューバ社会主義の存続は中南米人民と共にあります。
- ・キューバへの連帯は“現地に足を運び、人民と触れ合う連帯”にあり

ます。今年も秋ごろ訪問団が計画される予定です。

※詳細はCUBAPON会報・次号(2月ごろ)でご案内。第22回訪問団報告書、会報ご希望の場合はご連絡ください。

ベトナムとの友好活動の中心となっている NPO 日本ベトナム平和友好連絡会議(JVPF)が結成されて今年で20年を迎えます。

また、IFCCが1996年から始めた枯葉剤被害者支援とそのためベトナム民族アンサンブルチャリティコンサートは昨年(2019年)で**24年、協賛・協力頂いた方々は延べ185,400人(385会場)**に上ります。

その間、タイピン省・障害者リハビリ施設開設、ホーチミン市に村山記念 JVPF 日本語学校開校、少数民族学生奨学金、友好マラソン、生花デモンストレーション、枯れ葉剤被害者追跡映像記録DVD製作、各地の障害者慰問と施設寄付が続けら

～IFCC企画・協賛及び旅行社アイエフシーの手配ツアー紹介～

- **JVPF ベトナム訪問～秘境ハザンで奨学金支援、枯れ葉剤被害者への「仁愛の家」寄贈～**
1月10日～14日 企画：JVPF
内容：ハザン省少数民族学生奨学金贈呈式、同ハザン枯葉剤被害者貧困家庭への「仁愛の家」寄贈など
- **欧州「少子化・福祉問題」視察研修**
4月20日～25日 企画：自治体議員団全国会議
内容：スウェーデンの高齢者・障がい者福祉と基礎学校視察
- **ベトナム解放統一45周年記念訪問団**
4月26日～5月1日(予定)～ 企画：JVPF
※参加者募集 詳細はお問い合わせください。
- **第六次・村山談話を継承する平和の旅(中国訪問)**
7月9日～14日 企画：同企画委員会
※詳細はお問い合わせください。
- **第223回キューバ友好訪問団(準備中)**
11月下旬予定 企画：CUBAPON

れてきました。今回の基金はハザン省での被害者貧困家庭への“仁愛の家”寄贈に使用されます。

・20周年を迎えたNPO・JVPFは記念事業として、以下の活動を計画しています。

1. 認定NPOへの移行を具体化
2. 記念資料「日本の労働者とベトナム戦争」作成
3. 解放統一45周年記念訪問団の取組み
4. 20周年祝賀会の開催
5. 枯葉剤被害者支援「仁愛の家」寄贈活動

・村山記念JVPF日本語学校は13年目を迎える活動に入り、近年は毎年20人程度の日本への留学生を派遣してきています。

・『わたしの体の中では戦争が終っていない』という枯れ葉剤爆弾被害者の叫びを受けとめ、“忘却に抗(あらが)う”活動を続けてきています。このアピールのため2020年もベトナムアンサンブルチャリティーコンサートを計画中です。

・少数民族出身学生奨学金をハザン省、ラムドン省、クアンチ省で継続中です。

※JVPFは会報「ホアビン・レポート」で活動紹介しています。活動にご参加ください。



好評発売中 入賞した枯れ葉剤被害者追跡映像『トアとトウ』

日中友好の緑化植林活動は2019年で終了となりました。中国寧夏回族自治区と河北省唐山市(遷西県)、内モンゴル多倫県で実施し、17年間(足掛け18年間)続けてきましたが日中緑化交流金の助成事業中止に伴い、2019年の緑化植林派遣団で終了することになりました。実績は7,877,250本(累積)2,780ha(累積)となりました。植栽の木々が友好の大河の一滴になることを祈念しています。あらためて紙上をもって御礼申し上げます。

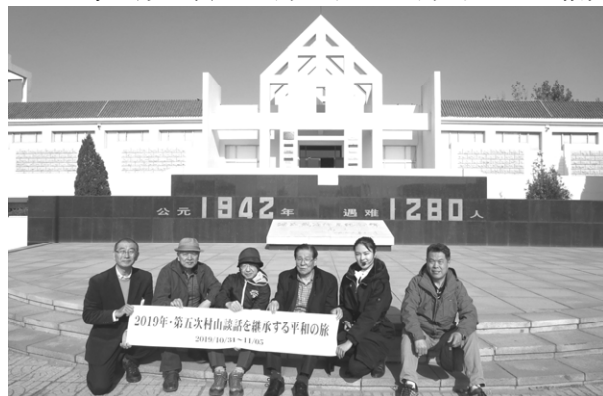
※会報「緑の架け橋」最終号34号ご希望の方には進呈いたします。



上:第一期事業地「紅寺堡」の2002年の原状
下:「紅寺堡」に出現した林と派遣団(2019/5/11)

平和の旅中国での「侵略を記憶し語り継ぐ平和の旅」はIFCCが発起して続けられてきましたが、2011年の20回目(20年)の旅をもって一端区切りがつけられました。2015年の戦争終結70周年にあたり、これまでの平和の旅の足跡を問う為、IFCC又市征治会長の発起をいただき『村山談話を継承し、2015年を日中友好年とする訪問団』を実施。2016年から「村山談話を継承する平和の旅」として継続しています。

・2019年の第五次は10月31日～11月5日、731細菌部隊跡(ハル



第五次は三光作戦惨案跡の河北・唐山市潘家戴庄まで足を伸ばした。慰霊碑には遭遇した被害者1280人の数字が刻まれている。記念館の中に遺骨発掘原状が保存されている。(2019/11/3)

ピン)、柳条溝事件跡(瀋陽)、平頂山惨案跡(撫順)、三光作戦跡(河北の「潘家戴庄惨案」「潘家峪惨案」)の視察、及び中国社会科学院での意見交換をしてきました。

・今年も忘却に抗(あらが)うために**第六次を計画中です。2020年7月9日(木)～14日(火)**、①細菌兵器による攻撃実施地の義烏、金華の視察、証言聴取 ②南京大虐殺惨案跡、記念館視察及び証言聴取 ③河北での三光作戦跡「北垣村」・冉莊地道戦遺跡視察 ④交流:中国社会科学院、中華国際青年中心での意見交換の内容です。

※三光作戦とは焼光(焼き尽くす)・殺光(殺し尽くす)・槍光(そうこう)(奪い尽くす)からきている作戦を指します。

※ご参加を呼びかけます。ご希望の方には詳細資料をお送りします。

(鎌田篤則)

IFCC 推奨企画

スウェーデンの高齢者・障がい者・教育を研修視察

する訪問団が計画されています。

IFCC 国際友好文化センターは内容がIFCCの活動上有意義であることからこの機会への関心ある方々をオーガナイザーに推薦することにいたします。ご連絡ください。詳細をご案内いたします。

期日:2020年4月20日～25日

訪問地:スウェーデン・ストックホルム

内容予定:高齢者福祉施設の視察訪問(デイケア、グループホーム) / 行政関係者との会談(福祉 or 環境

政策) / 障害者リハビリ施設視察訪問 / 障害者が働く現場視察訪問 / 基礎学校(日本の小中学校)視察訪問

企画:自治体議員団全国会議

対象者:福祉行政及び施設業務関係者、本テーマに関心ある方

締切:2020年1月27日